

土木学会 鋼構造委員会 サステナビリティ調査研究小委員会の立ち上げに向けての討議

日 時 令和5年12月1日（金曜日） 16:00-17:30

参加者 齊藤 史朗幹事長 （株）IHIインフラシステム 新事業推進室 研究開発部
栗原 康行 JFEスチール（株）スチール研究所 インフラ建材研究部
NEE 水口社長、鈴木

議事（概要）

- ・2024年に委員会活動を開始し、概ね2年間かけ調査・検討を実施し、3年目に図書制作若しくはパネルディスカッションを実施した上で報告書としてまとめる。
- ・直近の話として橋梁シンポジウム(8/4開催予定)へのパネルディスカッション参加を求められている
- ・委員募集として公募を実施。公募に必要な資料は「設立趣意書」
- ・他に各大学へ参加の呼びかけを実施
- ・委員候補として、
 - ー土木：国総研、土研、建コン、橋健、NEXCO 総研（環境研究室）、高速道路調査会（環境検討会参加の学識者委員）鉄道：JR 総研
 - ー電力：電中研 産業：産総研 鉄鋼：未定
- ・第一回は次年度の1～2/四半期頃での開催が目標。議事は「現状における実態把握」。
 - ー「国内」や「海外」での取り組み状況や「現状」における目標としている内容やその期限設定の考え方。取組方法においても「直接的」に業界として削減に取り組むものや植樹など「間接的」な取り組み状況などの現状把握を行う。
 - ー現状を把握した上で、討議し、本委員会で行うべき調査研究課題を策定する
- ・海外情報については NEE の紺野主席調査役、三井住友の春日氏が情報をお持ちかもしれない（CO2 排出低減を発注条件としている案件があるよう？）

《取纏め例》

〇〇業界	海外	国内
取組状況 (現状)	《直接的取組》 《間接的取組》	《直接的取組》 《間接的取組》
取組の方向 (将来)	《直接的取組》 《間接的取組》	《直接的取組》 《間接的取組》

以上